



- この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。
- 防火仕様の場合は単体シャッター枠、シャッター本体、ガイドレールにそれぞれ防火設備と表示されていることを確認してください。枠・本体・ガイドレールともに、防火仕様を使用しない場合、遮炎性能を満たしません。

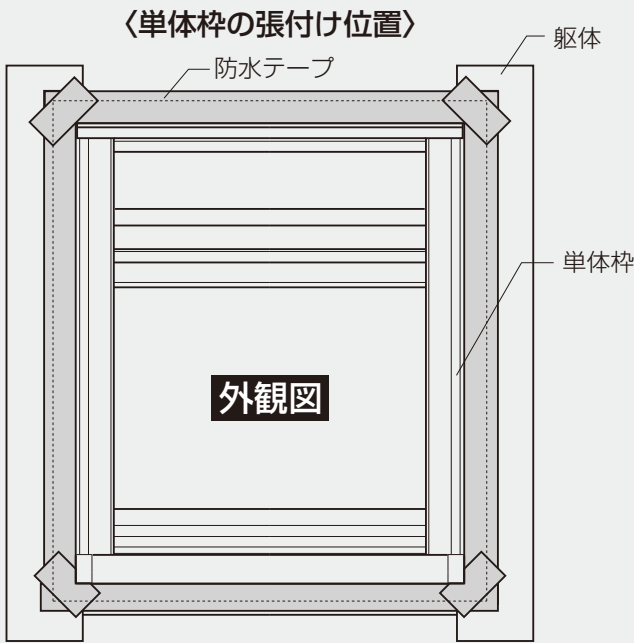
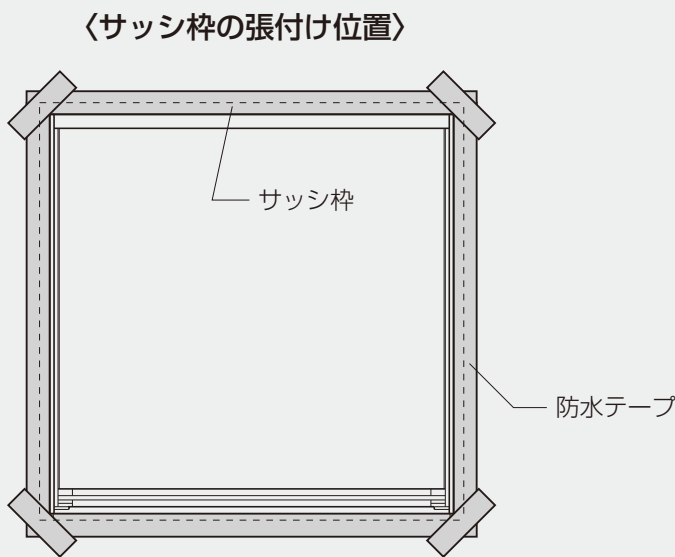
■取付けされる方へのお願い

- 取付け前に必ず本説明書をお読みください。
 - 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
- ▲注意** …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

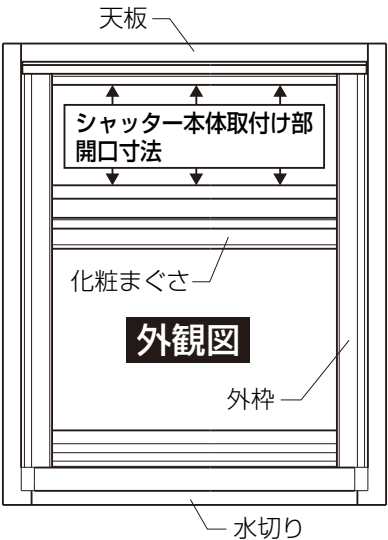
- シャッター本体の脱落や変形による作動不良・漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認してください。
 - ・必ず指定のねじを指定の本数使用して固定してください。
 - ・シャッターを連窓にする場合は、吊束を取付けてください。吊束には最大60kgの荷量がかかりますので、 $\square 90\text{mm}$ 以上の木材を使用してください。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品を取付ける前に、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)が張ってあることを確認してください。
 - ・本製品取付け後、単体枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部および単体枠の角部が完全にかくれるように防水テープ(別売り)を張ってください。
 - ・外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさ・水切りの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
 - ・部材現場付けの場合、天板に外枠を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまい、漏水するおそれがあります。
 - ・背板の取付け時は、背板の四周(天板・外枠・化粧まぐさ)およびコーナ一部に防水テープを張って、さらに圧着してください。
 - ・部材現場付けの場合、外枠と天板・化粧まぐさ・水切りをねじ止めするねじは $2.5 \pm 0.5\text{N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5\text{kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
 - ・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス(点検口)、ガイドレール、水切りの水抜き穴を埋込まないでください。

〔防水テープ張付け位置〕



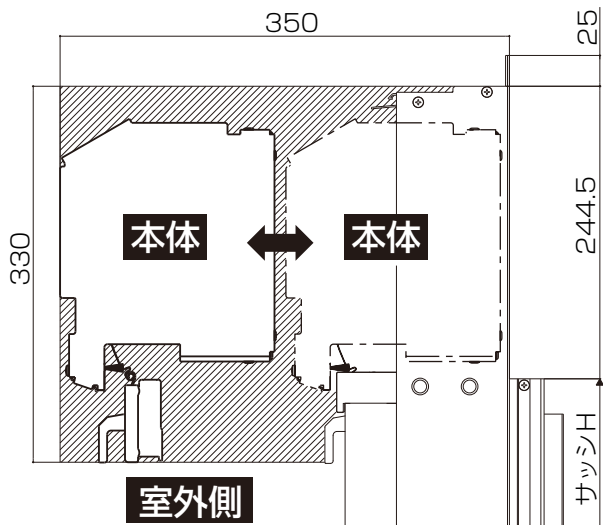
■取付け上のお願い

- 本製品のうち、サッシ枠の組立ておよび取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。
サッシの組立て・取付けは、シャッター(電動)の施工範囲には含まれません。
- 天板・化粧まぐさは水平に取付け、シャッター本体取付け部の開口の寸法がどこを測定しても等しくなるようにしてください。(右図参照)
寸法が正確に出ていないとシャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
- 枠の水平・垂直を正確に出してください。特に水切りの上下のソリがないようにしてください。
シャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などがやり直すおそれがあります。
- モルタル施工の際、水切りにモルタルが付着しないよう指導してください。
- モルタルはくり剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。
- 水切りが変形しないよう、躯体取付けねじは必ず固定してください。
- 水切り先端部にのったり、重量物をのせたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。
- シャッター部分の組立て・取付けについては、シャッター本体同梱の取付け説明書をご覧ください。
- 台風ポールを採用される場合
- 枠を取付けてからでは取付け部品を付けることはできませんので、必ず台風ポール取付け部品を化粧まぐさに取付けてから、枠を取付けてください。台風ポールの取付けについては、「台風ポール／取付け説明書」をご覧ください。

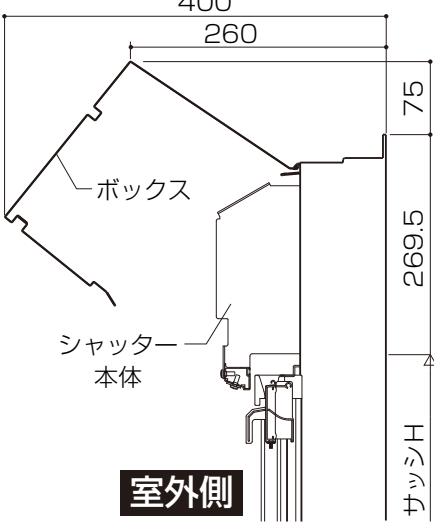
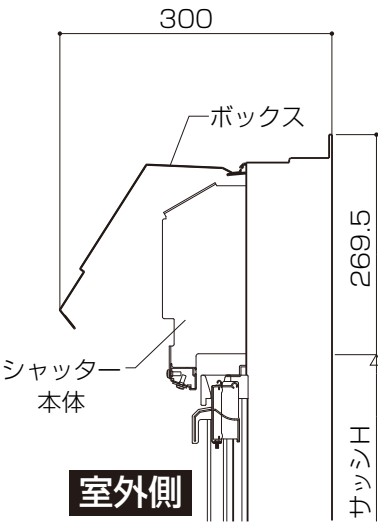


●シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。

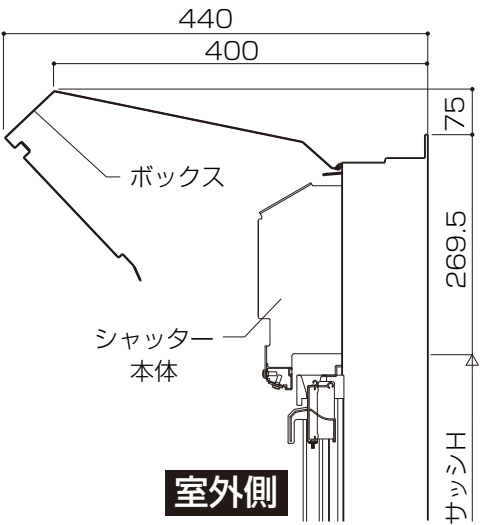
■S型ボックス



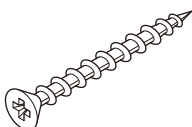
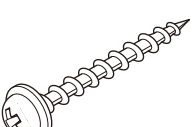
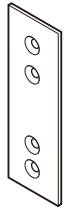
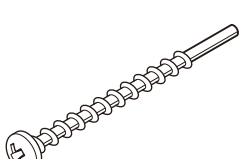
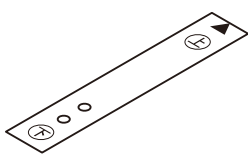
■D型ボックス



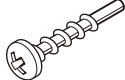
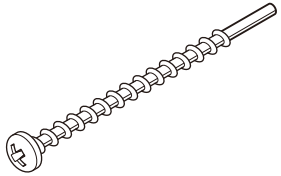
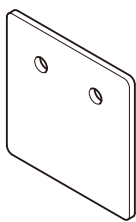
■H型ボックス



■使用部品・ねじ一覧表

①	㊦	㊨	㊩	㊰	㊱
					
皿タッピンねじ φ4×35	トラスタッピンねじ φ4×35 (カラー／ゴムワッシャー付き)	吊束補強板(連窓のみ)	スクリュー釘φ3×50 (連窓のみ)	バインドタッピン ねじφ4×30	背板
㊴	㊵	㊶			
					
皿小ねじM4×5	防水テープ	位置決め台紙			

●シャッター連窓の場合

㊸	㊹	㊺	㊻	㊼
				
シャッター吊束 固定金具	バインドタッピンねじ φ4×10	皿小ねじM4×10	バインドタッピンねじ φ4×40	吊束固定裏板

■取付け順序

1 吊束の取付け (シャッター連窓の場合のみ)

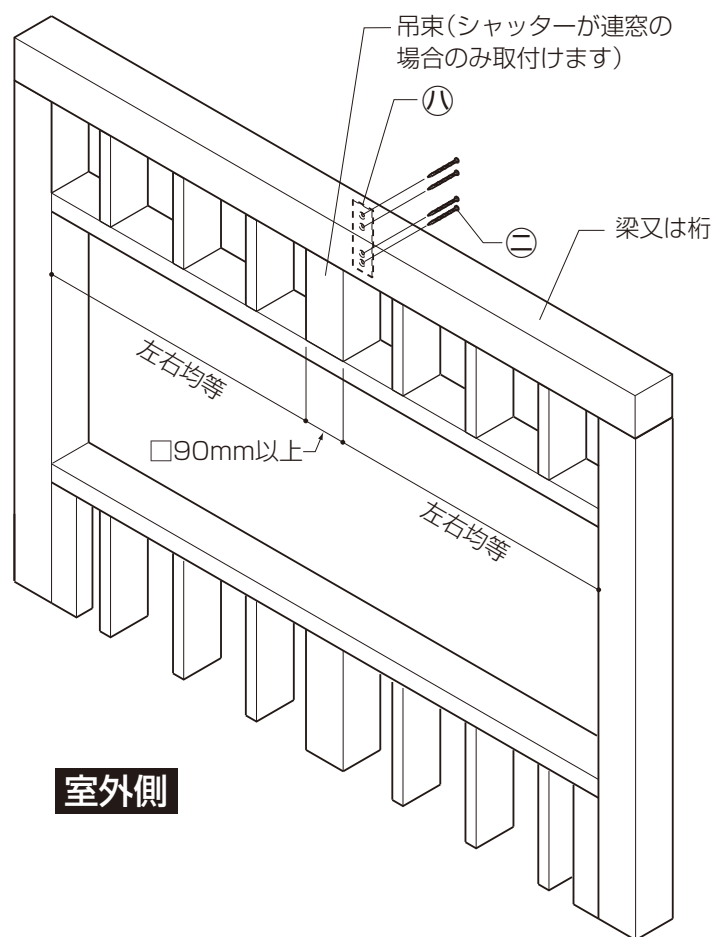
■取付け詳細

1 吊束の取付け (シャッター連窓の場合のみ)

- 吊束は左右均等の位置に取付けてください。連窓するシャッターが左右均等でない場合は、シャッター吊束取付け穴に吊束の中心がくるよう取付けてください。

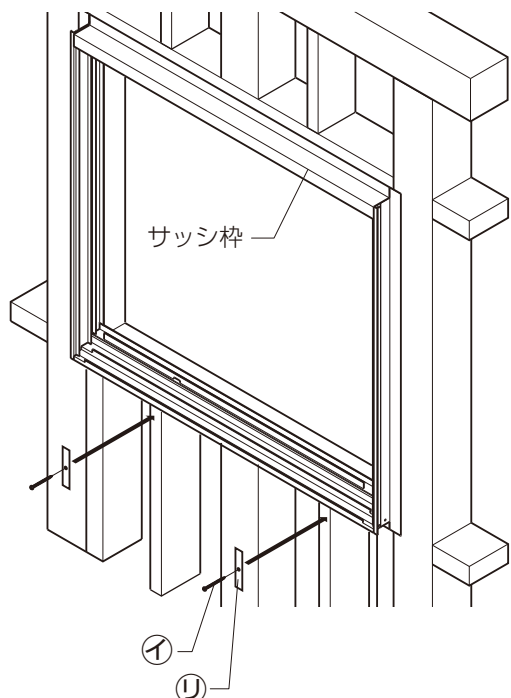
⚠ 注 意

- シャッターを連窓にする場合は、吊束を取付けてください。吊束には最大60kgの荷量がかかりますので、□90mm以上の木材を使用してください。シャッター本体の脱落や変形による作動不良・漏水の原因になるおそれがあります。

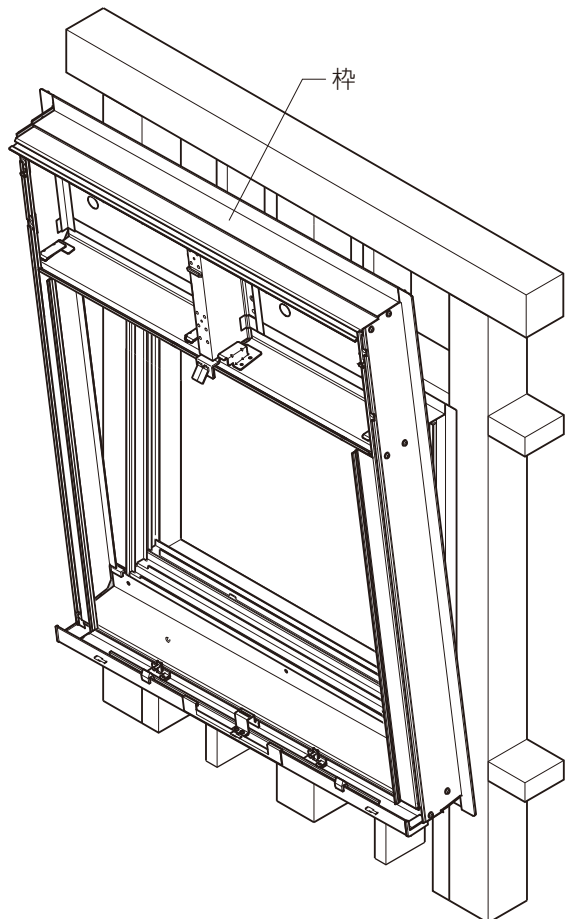


■取付け順序(四方先組みの場合)

1 位置決め



2 枠の仮止め

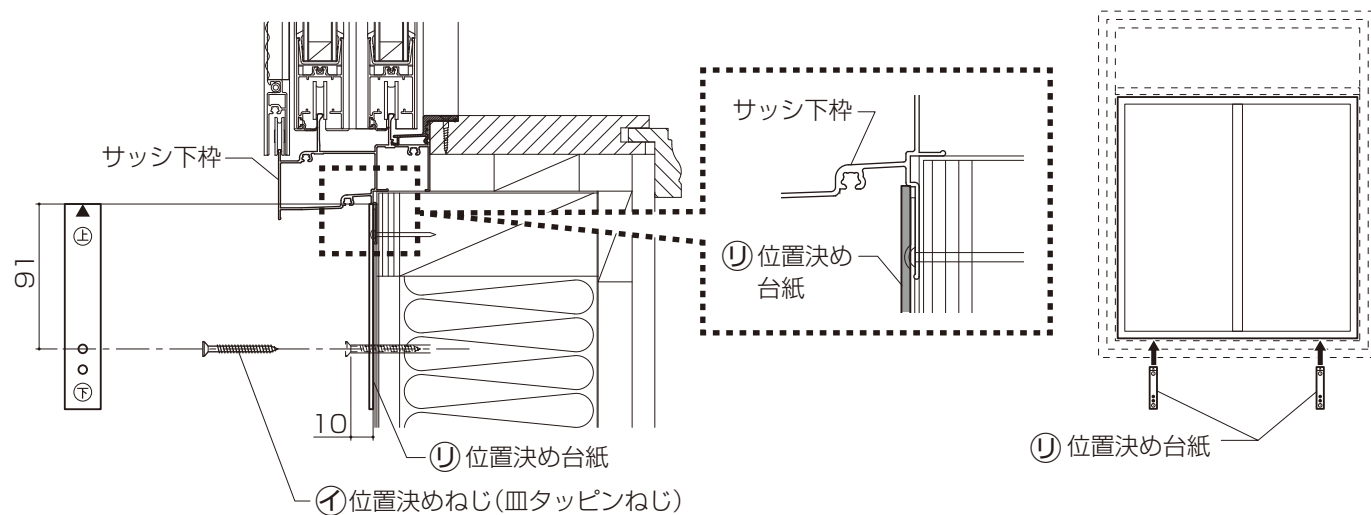


■取付け詳細(四方先組みの場合)

※入隅の場合は四方先組みして取付けを行ってください。

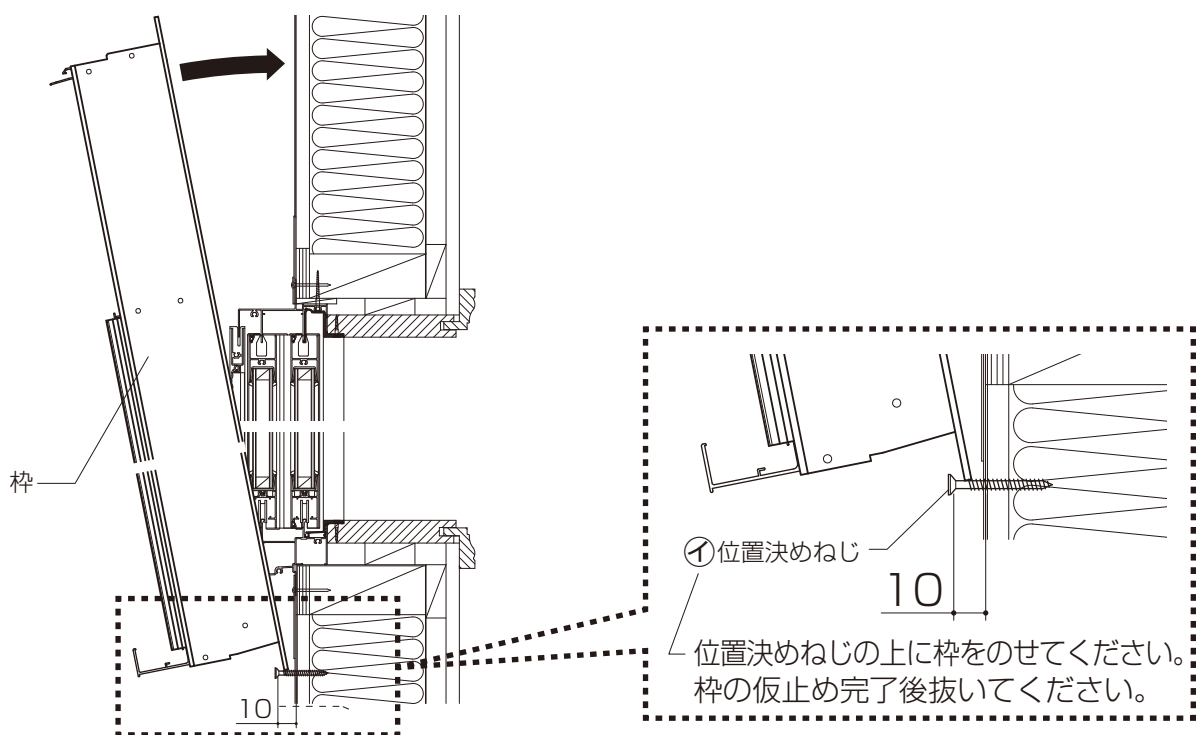
1 位置決め

- ①サッシ下枠に下図の通り①位置決め台紙を合わせて、直付用の穴の位置に下穴をけがきます。(左右2カ所)
※下穴は必ず、胴縁がある位置にしてください。
- ②けがきに合わせて、①位置決めねじ(皿タッピンねじ)を首下10mm残してねじを締めます。

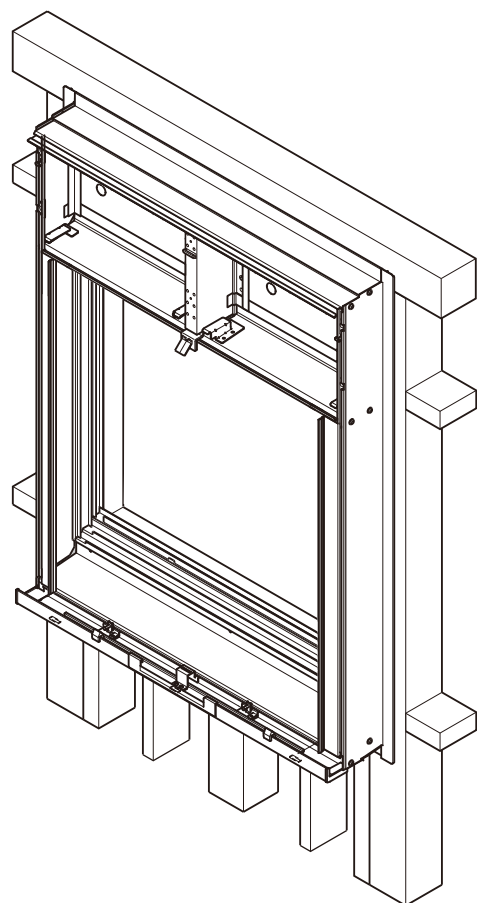


2 枠の仮止め

- ①枠の水切りフィンを①位置決めねじにのせ、枠を躯体に起こします。
- ②天板、まぐさの水平を水準器で確認し、左右の出寸法を均等になるようにします。
- ③外枠の垂直を水準器で確認して一番上の穴(左右)の位置にねじを締めます。
- ④①位置決めねじ(皿タッピンねじ)を抜きます。

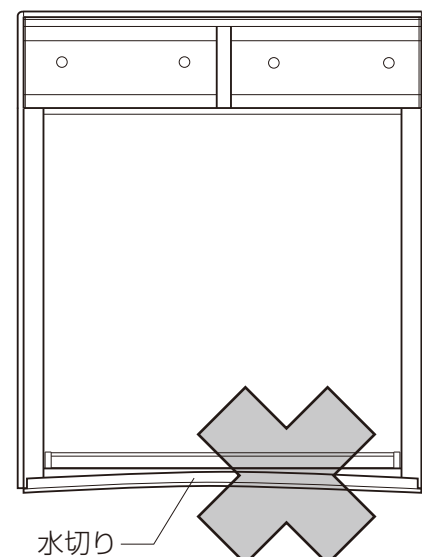
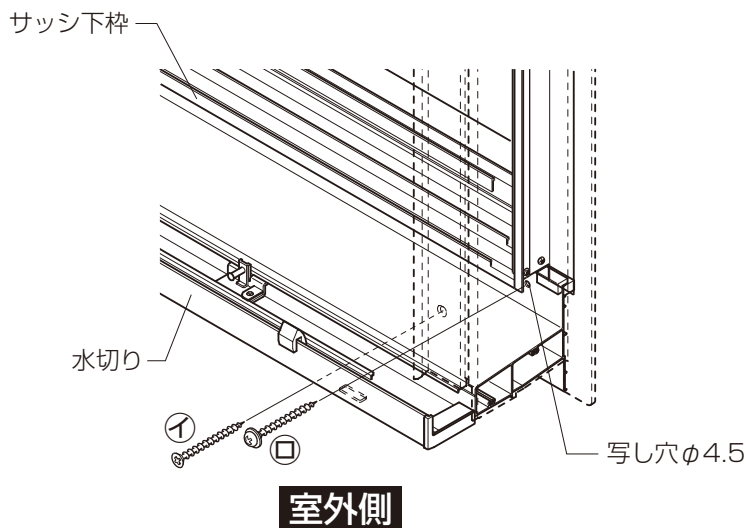


3 枠の固定

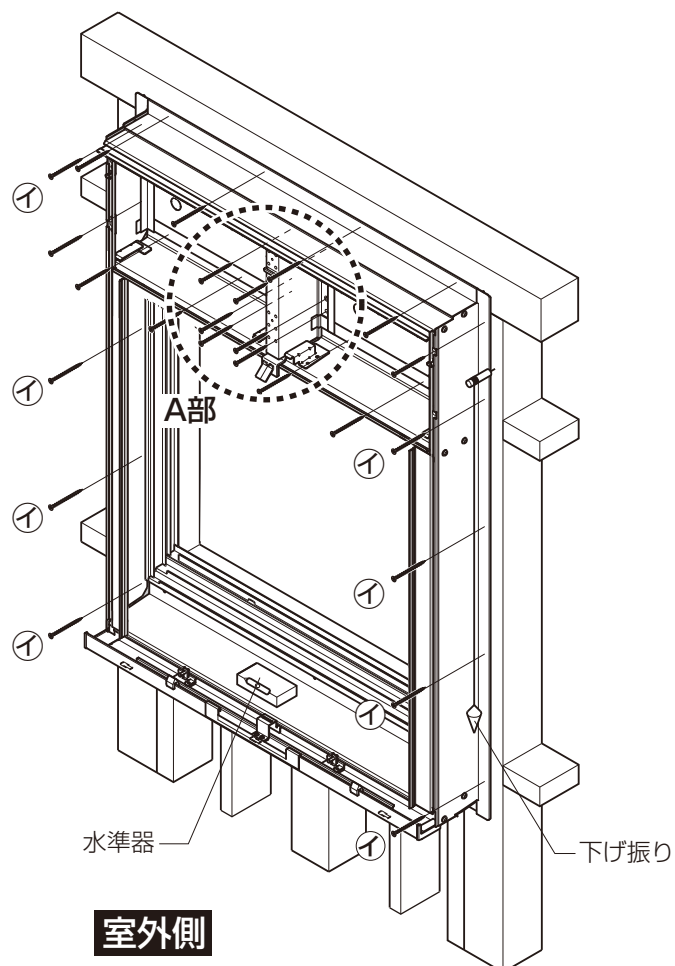


3 枠の固定

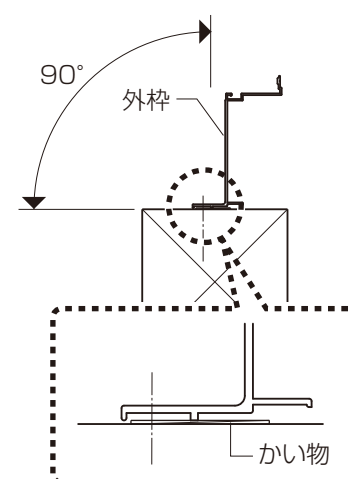
- ①水切り上部のフィンにあってはいる釘穴の位置にドリルでφ4.5の写し穴あけ、㊦トラスタッピンねじ(カラー／ゴムワッシャー付き)で固定します。
 - ②水切り下部のフィンにあってはいる躯体取付け穴に合わせて、⑦皿タッピンねじで固定します。
- ※水切り固定の際は水準器などで水平を確認し、上下にソリがある場合は、かい物などで調整してください。シャッター動作不良の原因になります。



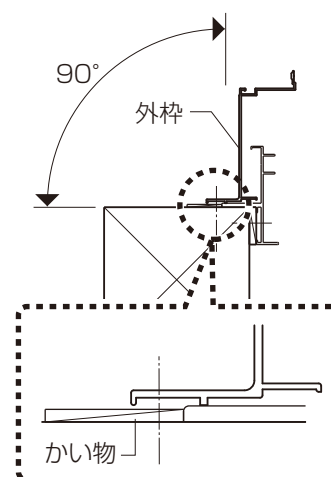
- ③固定していない外枠、化粧まぐさ、天板、シャッター吊束(連窓のみ)を⑧皿タッピンねじで固定します。
- ※外枠、化粧まぐさ、天板の固定の際は水準器などで水平を確認し、上下にソリがある場合は、かい物などで調整してください。シャッター動作不良の原因になります。



〈直付けの場合〉

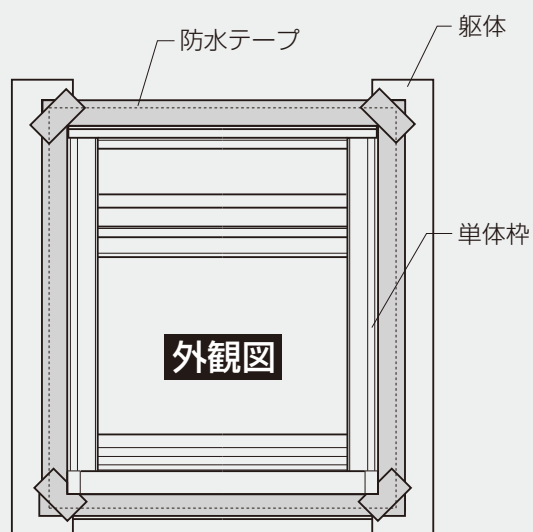


〈サッシのフィンが厚い場合〉

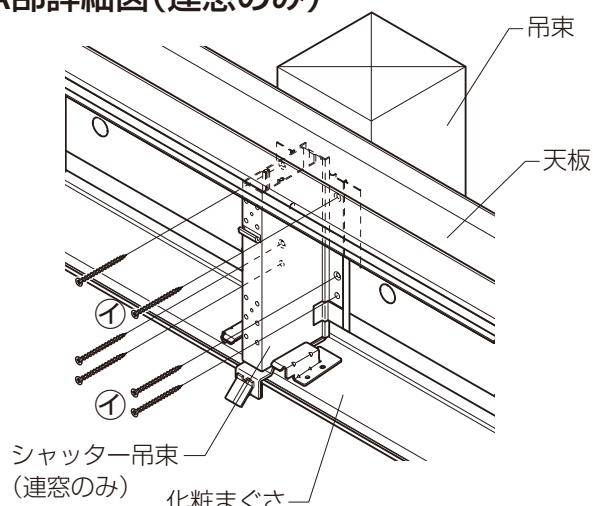


▲ 注意

- 本製品取付け後、単体枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部および単体枠の角部が完全にかくれるように防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

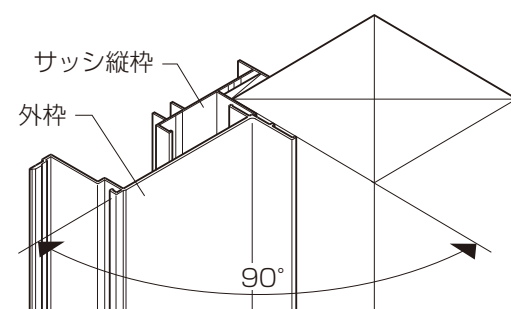


■A部詳細図(連窓のみ)



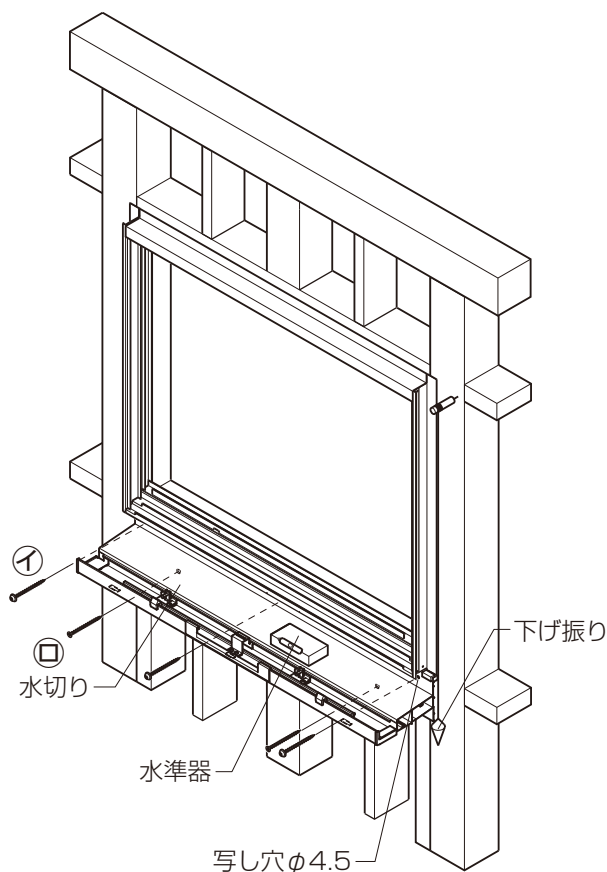
▲ 注意

- 取付けねじはすべて取付けてください。シャッター本体の脱落や変形による作動不良・漏水の原因になるおそれがあります。

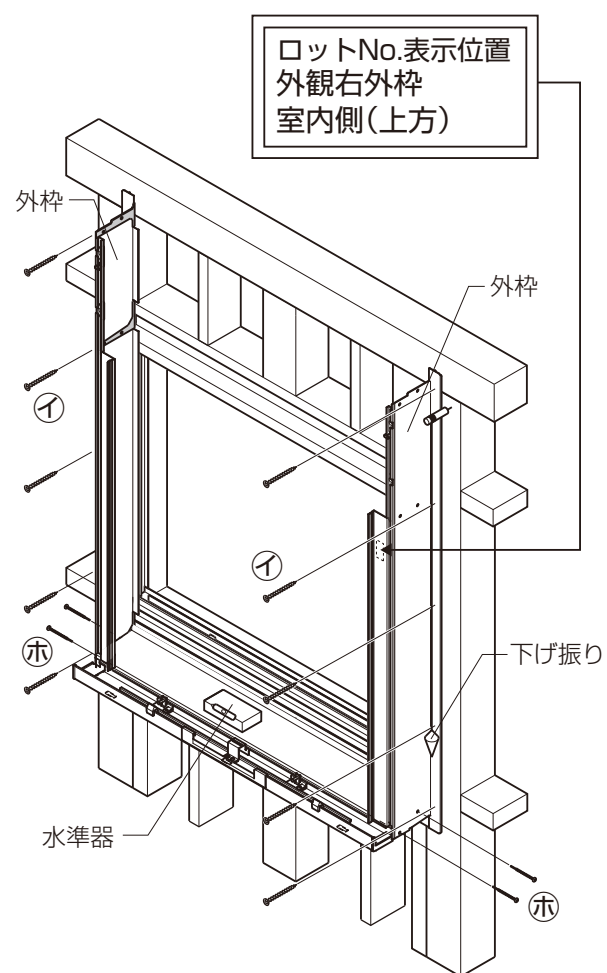


■取付け順序(部材現場付けの場合)

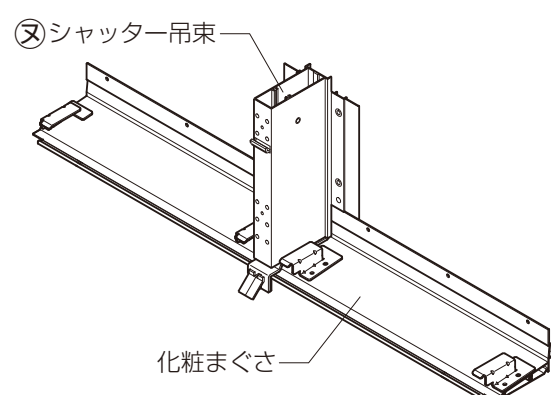
■1水切りの取付け



■2外枠の取付け



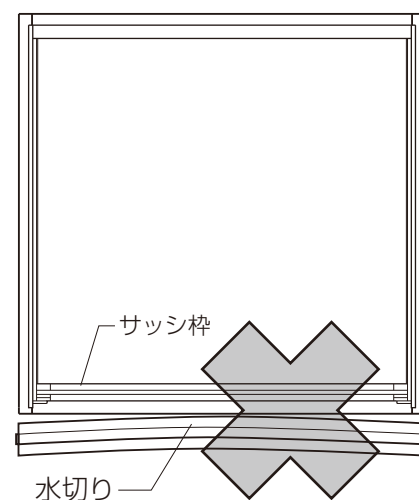
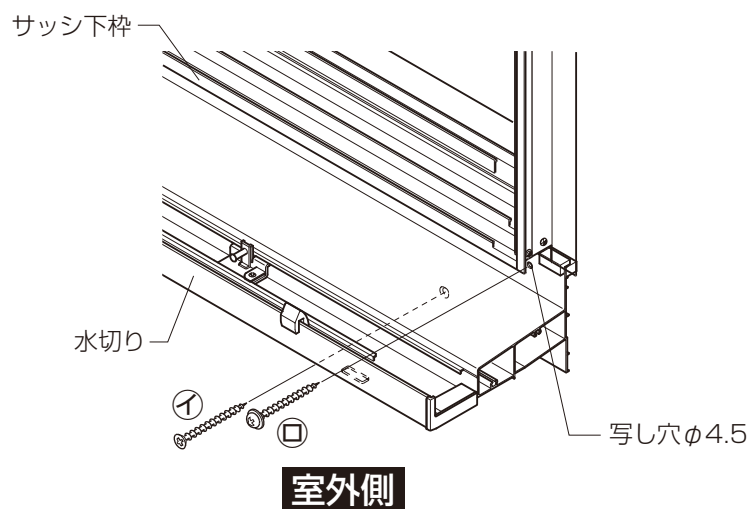
■3シャッター吊束の組立て (シャッター連窓の場合のみ)



■取付け詳細(部材現場付けの場合)

■1水切りの取付け

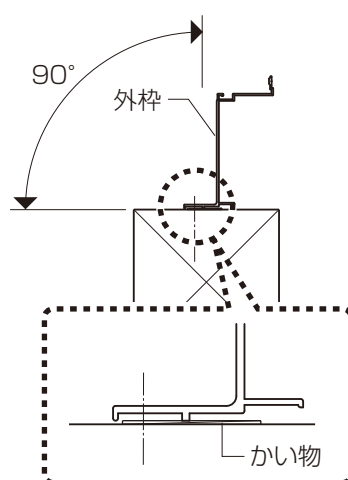
- ① サッシ下枠フィンの外側から水切りをかぶせ、サッシ枠からの左右の出寸法を均等にします。
 - ② 水切りをサッシ枠に当たるまで上げ、水平にします。
 - ③ 水切り上部のフィンにあいている釘穴の位置にドリルでφ4.5の写し穴をあけ、㊦トラスタッピンねじ (カラー／ゴムワッシャー付き) で固定します。
 - ④ 水切り下部のフィンにあいている躯体取付け穴に合わせて、㊧皿タッピンねじで固定します。
- ※水切り固定の際は水準器などで水平を確認し、上下にソリのある場合は、かい物などで調整してください。シャッター作動不良の原因になります。



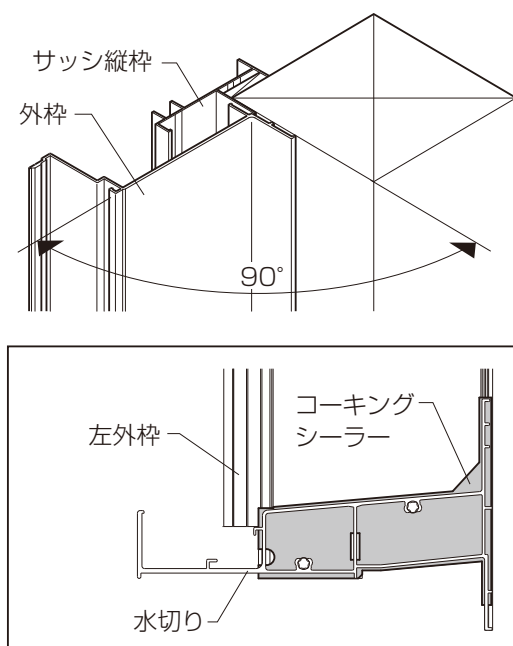
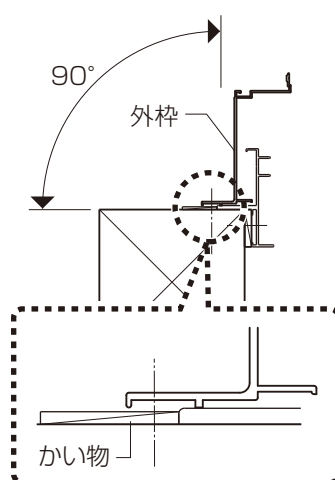
■2外枠の取付け

- ① 左右の外枠を水切りに㊦バインドタッピンねじでねじ止めします。
 - ② 枠の垂直を出し、躯体と直角になるようにどちらか一方の枠を㊧皿タッピンねじで固定します。もう一方は仮止めしておきます。
- ※枠の固定は下げ振りなどで垂直を確認し、躯体と直角になるようかい物などで調整してください。シャッター作動不良の原因になります。

〈直付けの場合〉



〈サッシのフィンが厚い場合〉

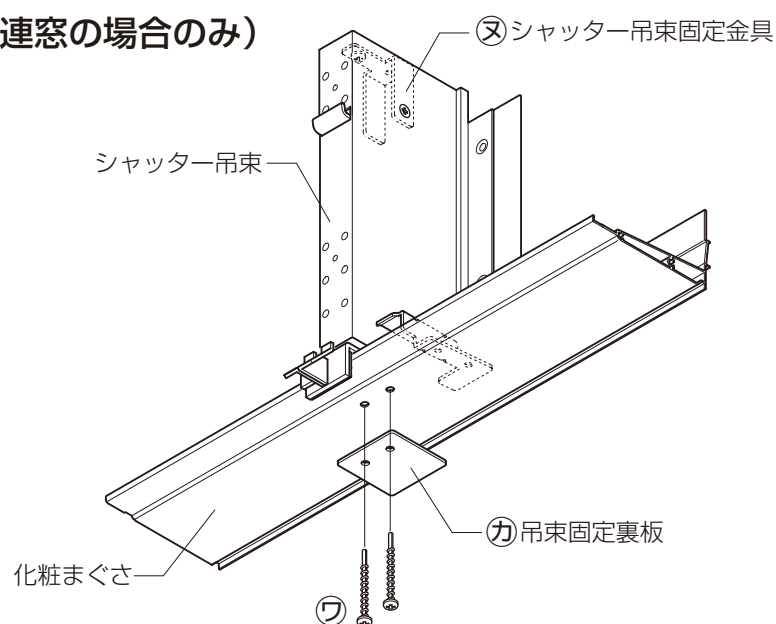


▲ 注 意

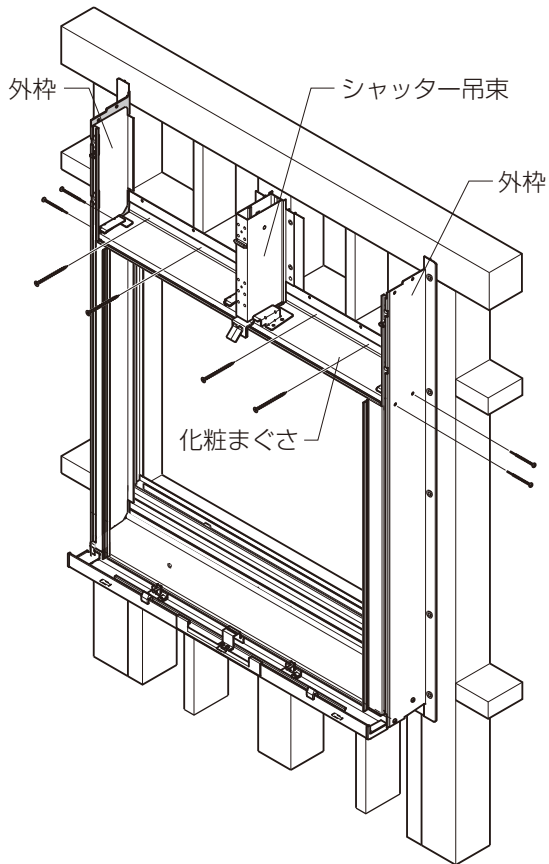
- 外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさ・水切りの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。
- ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。

■3シャッター吊束の組立て(シャッター連窓の場合のみ)

- シャッター吊束と化粧まぐさを㊦吊束固定裏板を通して㊧バインドタッピンねじで固定します。
- ※天板を先に組まないでください。㊧シャッター吊束固定金具が変型するおそれがあります。

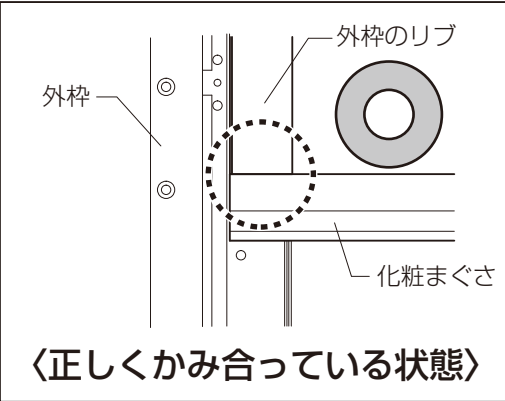
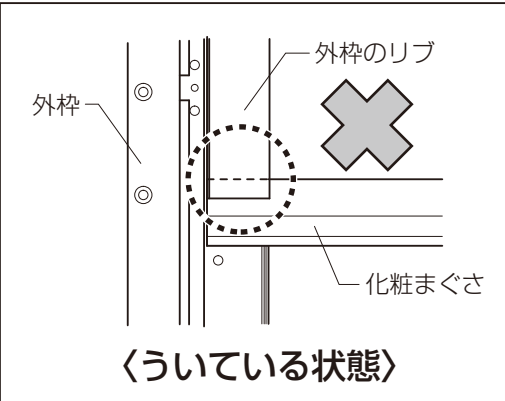
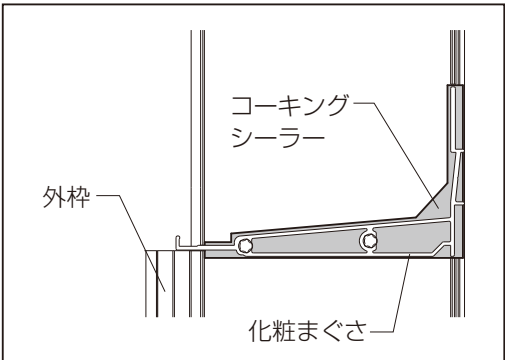
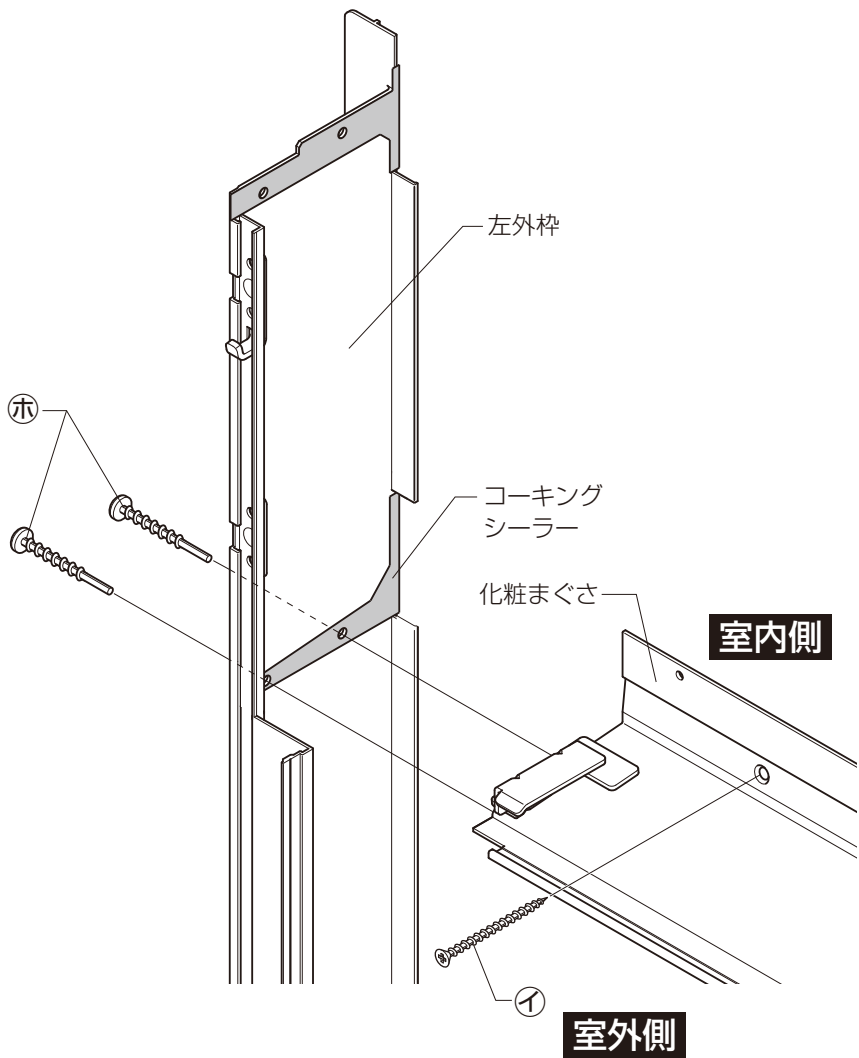


4化粧まぐさの取付け



4化粧まぐさの取付け

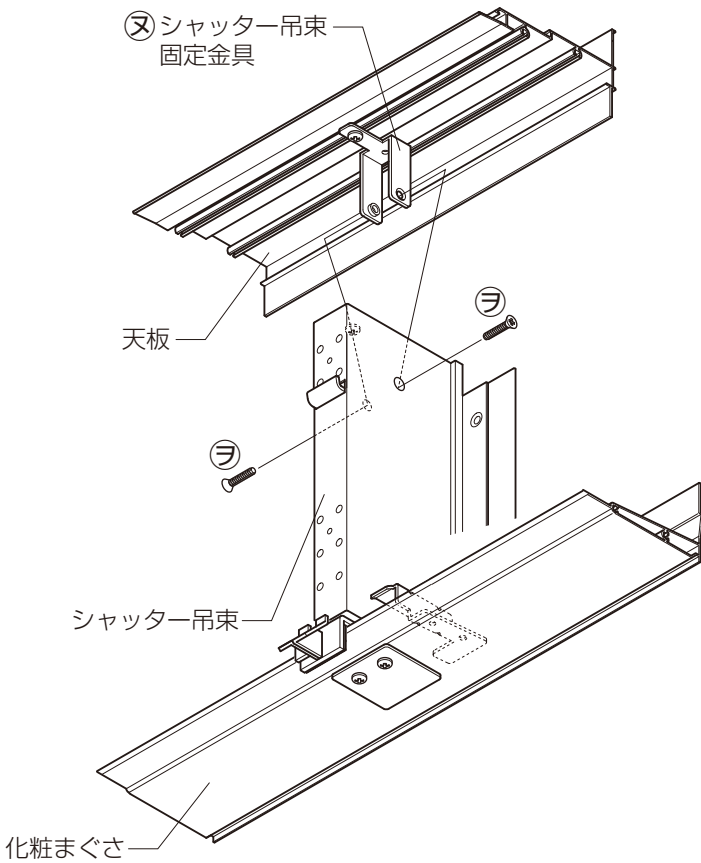
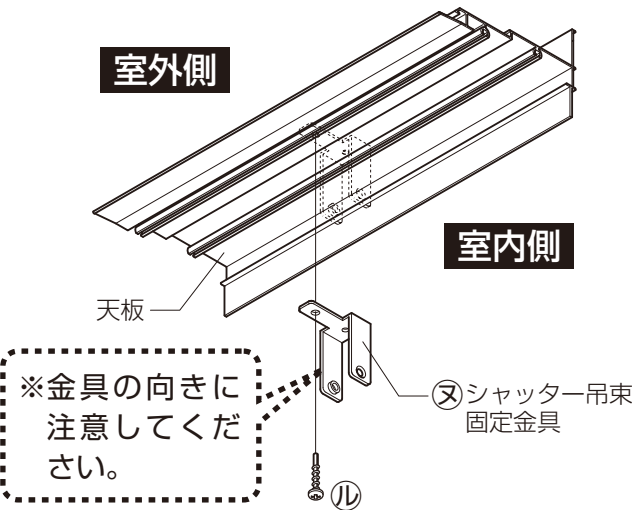
●左右の外枠と化粧まぐさを㊦バインドタッピンねじで固定します。
※躯体側がうかないよう、外枠のリブと化粧まぐさをかみ合わせてください。



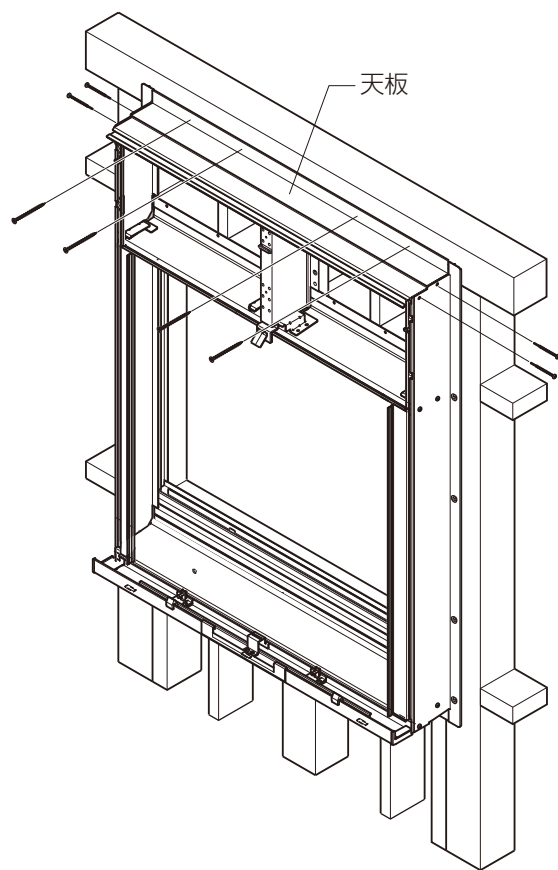
5天板とシャッター吊束の組立て
(シャッター連窓の場合のみ)

5天板とシャッター吊束の組立て(シャッター連窓の場合のみ)

- ①天板に㊸シャッター吊束固定金具を㊬バインドタッピンねじで固定します。
- ②天板の㊸シャッター吊束固定金具をシャッター吊束に差込み、㊭皿小ねじで固定します。

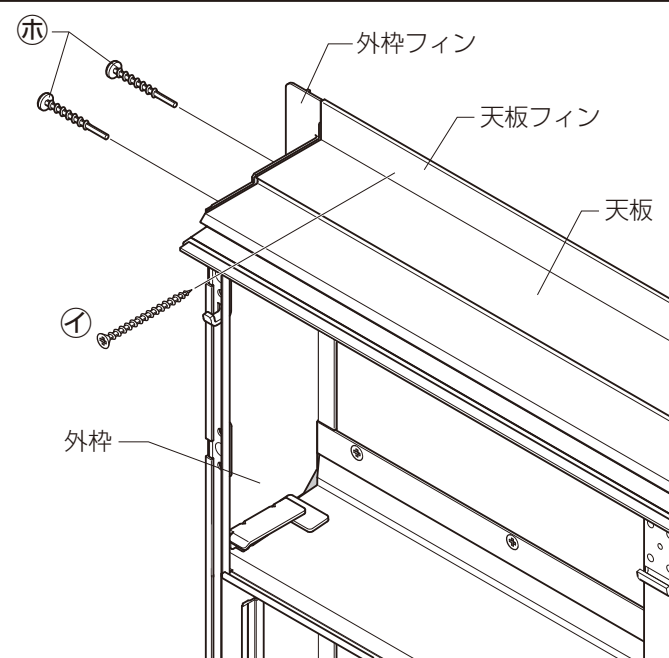
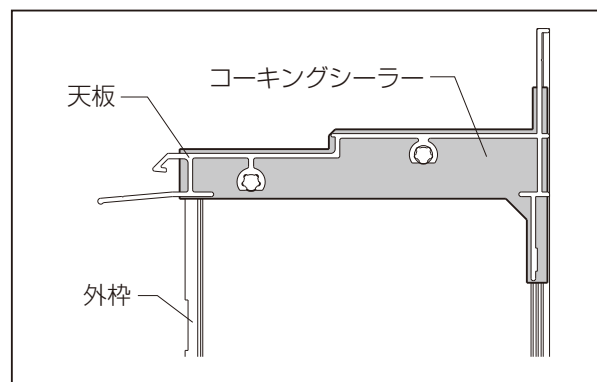


6 天板の取付け



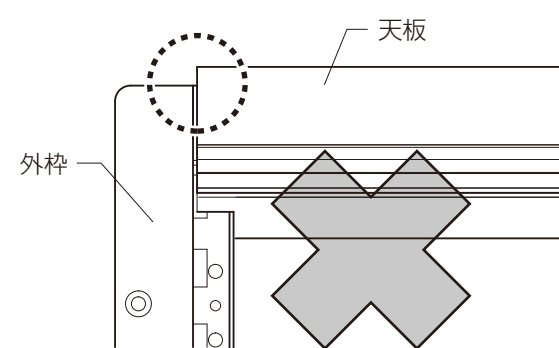
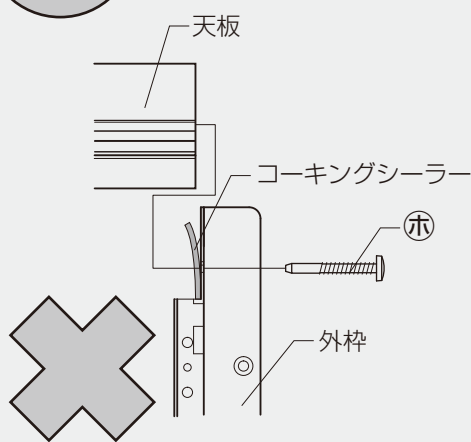
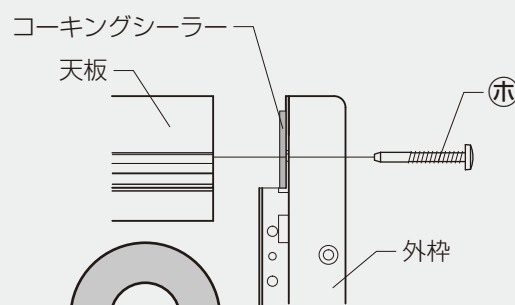
6 天板の取付け

- ①左右の外枠と天板を㊦バインドタッピンねじで固定します。
※躯体側がうかないよう、外枠と天板のフィンの高さを合わせてください。
- ②天板を㊨皿タッピンねじで躯体に固定します。

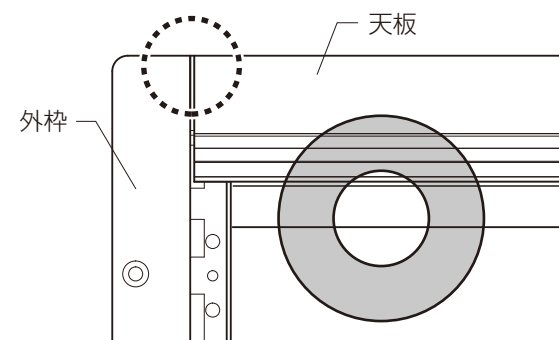


⚠ 注意

- 天板に外枠を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差し込むとコーキングシーラーがめくれてしまい漏水の原因になるおそれがあります。



〈ういている状態〉

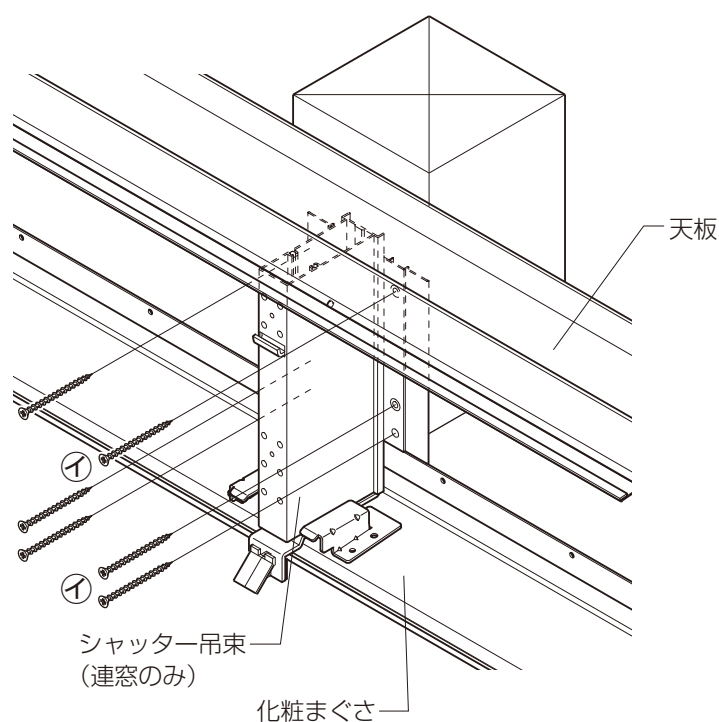


〈正しく押込んだ状態〉

7 シャッター吊束部の固定 (シャッター連窓の場合のみ)

7 シャッター吊束部の固定 (シャッター連窓の場合のみ)

- シャッター吊束を㊨皿タッピンねじで吊束に固定します。

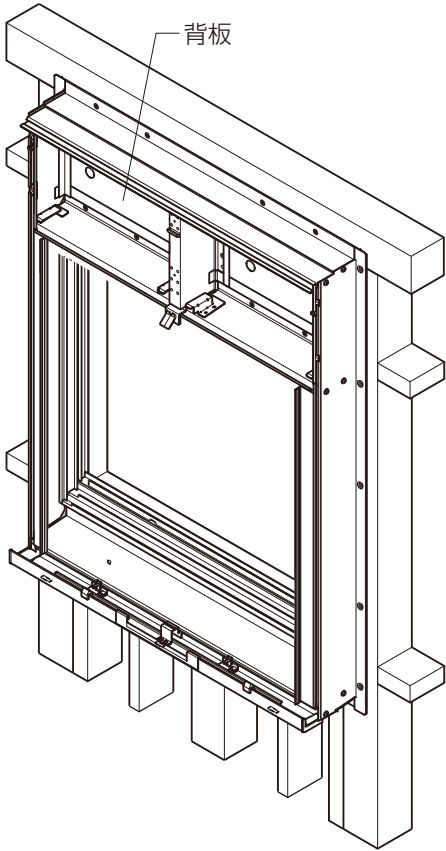


⚠ 注意

- 取付けねじはすべて取付けてください。シャッター本体の脱落や変形による作動不良・漏水の原因になるおそれがあります。

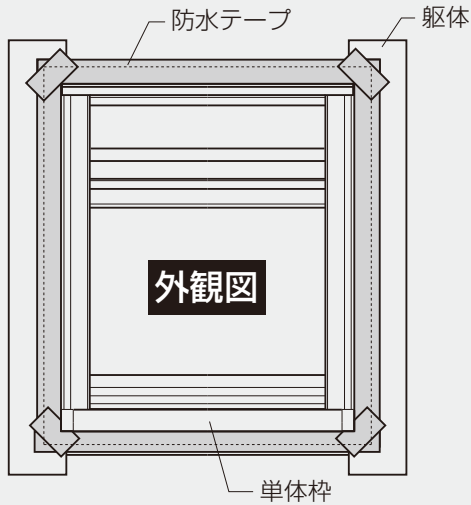
8 外枠・化粧まぐさの取付け

9 背板の取付け



▲ 注 意

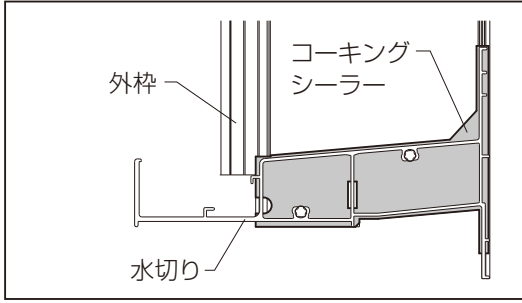
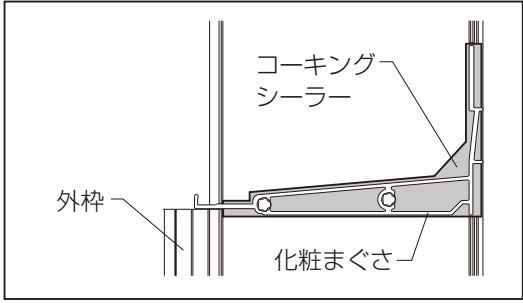
●本製品取付け後、単体枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部および単体枠の角部が完全にかくれるように防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。



外観図

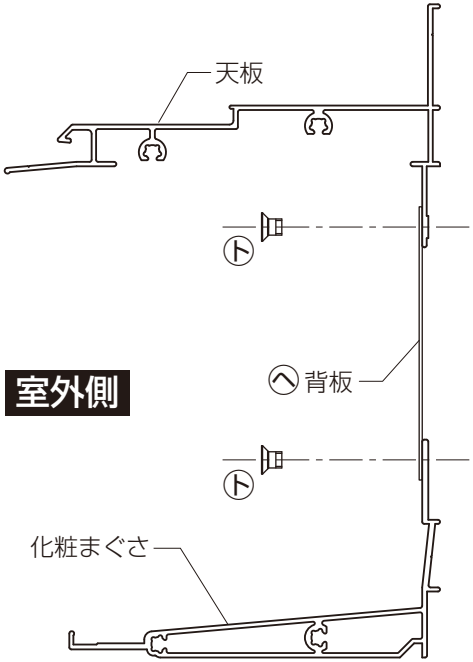
8 外枠・化粧まぐさの取付け

●固定していない外枠・化粧まぐさ・天板を①皿タッピンねじで固定します。

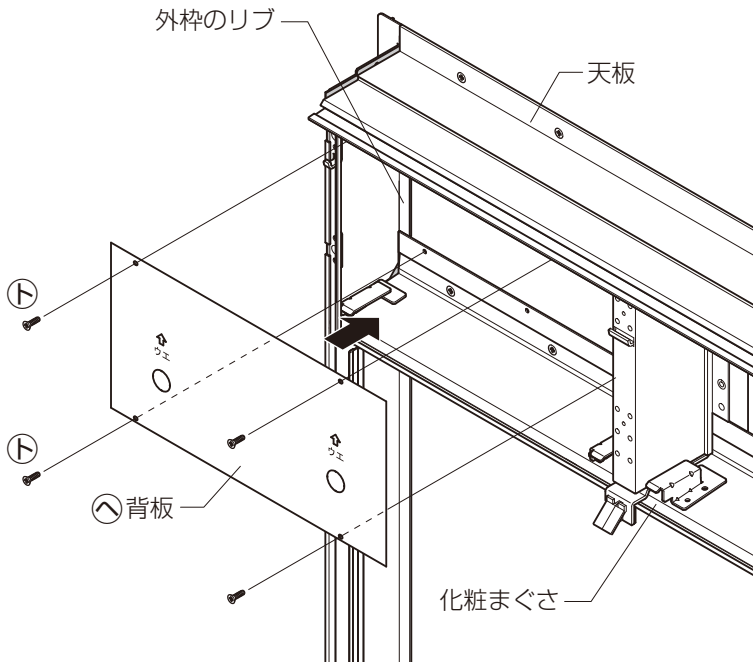


9 背板の取付け

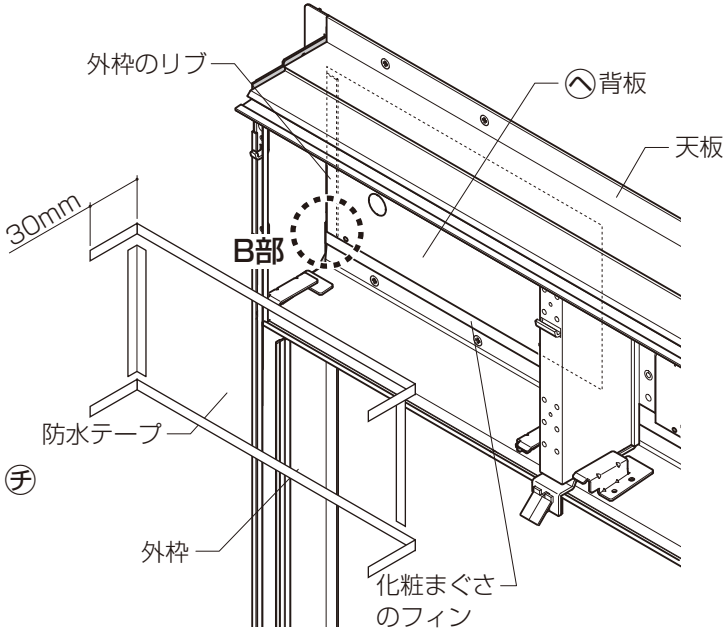
①⊙背板の「ウエ」の表示が室外側にくるように↑の向きを上にして、天板・化粧まぐさの下穴に背板の穴を合わせて②皿小ねじで取付けてください。



室外側

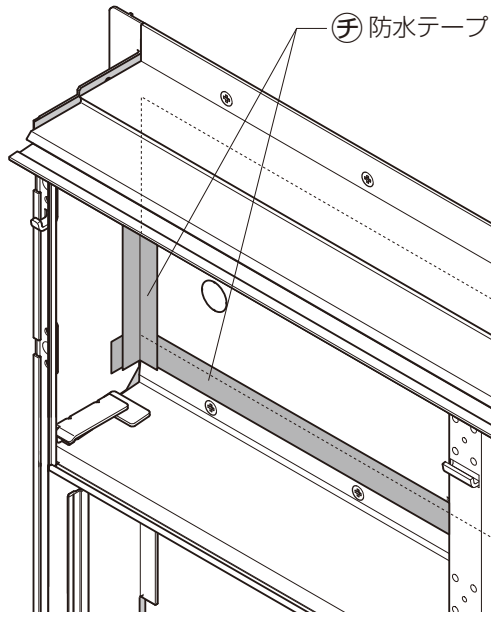


②化粧まぐさのフィン、外枠のリブ、天板のフィンに③防水テープを張付けてください。
※化粧まぐさ天板に張る③防水テープは、両端が外枠のリブをかぶせるようにコーナー部で30mm折曲げて張付けてください。



③③防水テープを圧着します。

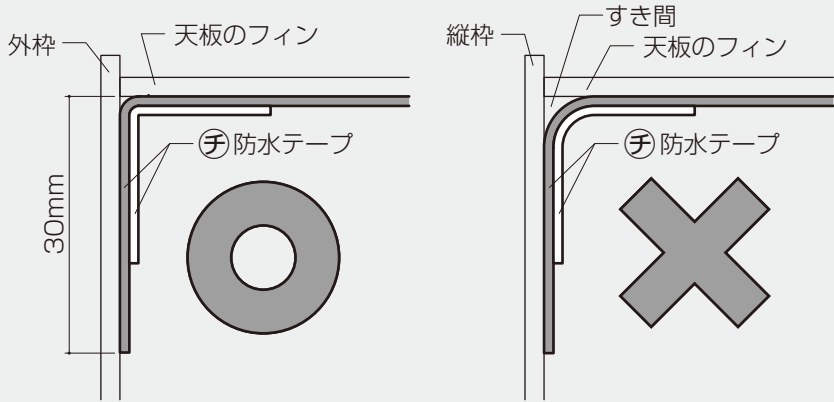
■B部詳細図



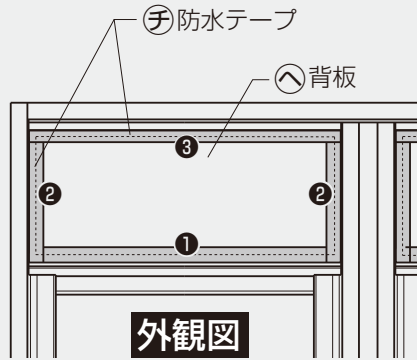
▲ 注 意

●防水テープは、下記順序で背板の四周およびコーナー部に必ず圧着してください。

①化粧まぐさ→②外枠に折曲げて→③天板
漏水の原因になるおそれがあります。



※コーナー部を圧着してください。



外観図

④張付け後、⊙背板、③防水テープに浮きがないか確認してください。